

県下の交通事故 (6月30日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
平成3年	2,512件	47人	3,382人
" 4年	2,358件	56人	3,085人
比較	-6.0%	+19.0%	-8.8%



◇ 第96号 ◇  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827



事故で追越車線に停止した乗用車に後続トラックが激突、死者2名(中央道)

# 夏の交通事故防止県民運動

## —7月21日~8月31日—

### ふれあいとゆとりでつなぐ無事故の輪

#### 交通安全は

#### 家庭と職場と地域から

夏の交通事故防止県民運動が七月二十一日から八月三十一日まで行われます。この運動は、夏の行楽シーズンと児童・生徒の夏休みが重なり、季節的に交通事故の多発、暴走族の行動の激化が予想されることから、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止及び暴走族追放の徹底を図ることを目的として実施されます。

#### 運動の重点と進め方

- シートベルト着用等の徹底
- 安全運転意識の高揚を図り、事故発生時の被害軽減のために
- シートベルトの着用効果と正しい着用方法の指導強化
- シートベルト非着用者に対する指導の徹底
- 「モラル地域」の指定とこれを中心とした職場、

#### 地域ぐるみ着用運動の推進

- 1 シートベルト着用等の徹底
- 2 安全運転(安全速度を守る、カーブ・交差点で)
- 3 安全運転(安全速度を守る、カーブ・交差点で)
- 4 家庭におけるシートベルト着用等の徹底
- 5 二輪車(安全速度を守る、カーブ・交差点で)
- 6 二輪車販売店等における安全運転ワンポイント指導の推進
- 7 事業所等における「交通安全クラブ」の組織化の促進と育成指導
- 8 三子とも高齢者の交通安全活動の推進
- 9 高齢者交通安全活動の推進
- 10 高齢者交通安全活動の推進
- 11 高齢者交通安全活動の推進
- 12 高齢者交通安全活動の推進
- 13 高齢者交通安全活動の推進
- 14 高齢者交通安全活動の推進
- 15 高齢者交通安全活動の推進
- 16 高齢者交通安全活動の推進
- 17 高齢者交通安全活動の推進
- 18 高齢者交通安全活動の推進
- 19 高齢者交通安全活動の推進
- 20 高齢者交通安全活動の推進



#### 安全のために

昨今の道路交通をとり巻く諸情勢は、誠に厳しいものがあります。昨年の全国の交通事故による死者は昭和六十二年以降連続四年一万人を超え、本年も昨年同期をさらに上回るハイペースで、すでに六月十五日現在四、八九七人となっております。まさに「第二次交通戦争」の状態にあると言えます。戦争状態といわれる局地戦争と言いつける状況にあると思われまふ。

### 第二次交通戦争

県警交通部長 加賀美 忠



明治三十二年、我が国の道路を初めて車が走ってから九十年が過ぎましたが、この間、車社会は急速な発展を遂げ、昭和四十二年に、一千万台を超えた自動車は、現在では、七、九〇〇万台に達しております。山梨県内だけでも七三万台を数え、県民一人一人に一人が自動車を保有し、全

二十四歳までの若者の事故が全体の三割以上を占め、その事故率は他の年代の二、六倍にもなっております。若者の事故は無謀運転や漫然運転によるものが大半ですが、若い方々には車両の特性や運転に伴う危険予測等の知識習得に心掛けるのと同時に、命の大切さをもっと考えていただきたいと思

付等を運転される方は、ご自分の運転適性を的確に把握していただきたいと思ひます。一方、交通事故の犠牲者が増加している要因としてシートベルトの非着用があげられます。交通事故で亡くなった二六人のうちシートベルトを着用していれば助かったと思われる方が



#### 官房長賞(努力賞)

- シートベルトは命の守り 愛媛・松山東 江美子
- 無灯火で乗らない、信号を守るの指導 徹底
- 自乗車の点検整備の励行
- 暴走族追放三原則「しなない」「させない」「許さない」の徹底
- 暴走行為を見たら「一番通報」の徹底
- 暴走族追放決議や宣言の採択による暴走行為の許さない世論の醸成

と正しい駐車、放置防止の指導の徹底  
 8 高齢運転者に対する運転適性診断の促進  
 9 商店、住宅街等の交通環境の整備(歩・車道クリン作戦の実施)  
 10 暴走族追放運動の推進地域ぐるみ、職場ぐるみで暴走族を追放するため



「こんなに努力しているのにどうして...」  
 「これだけ努力して...」  
 「...」  
 結果に対する考え方、二通りあるとしたら、交通安全活動を進める皆さんの場合、どちらをとりましますか。▼全国で交通事故死者が四年連続して一万人を超えてしまいました。前年よりまた増えたという数字をみて「どうして」と努力の空しさを感じ、「どうしたら」と考え込んでしまいませんか。▼事故が増える幾つかの原因のうち、車の増加、免許人口の増加が挙げられます。なるほど車がなければ、運転する人がいなければ事故など起こる筈はありません。が車の増加、運転者の増加に事故が比例的に増えていますか。▼昭和四五年、全国で交通事故死者一万六千六百五人とピークに達しました。当時と比べて、いまは車が約四・三倍、免許人口は約二・四倍です。もし事故がこれに比例して増えるならば、いまのような状況はおぼつか、もっと恐ろしい、まさに交通地獄の様相を呈しているでしょう。▼昭和四五年の交通死亡事故のピークに国民は目ざめ、総ぐるみで事故防止に取り組みました。九年後には、八四六六人とピーク時に比べ半減しました。▼行政の努力は勿論ですが、私たち民間で進める安全活動も永く地道に続けているからこそ、事故増勢に歯止めをかけている役目を果たしているのではないのでしょうか。▼夏の交通事故防止運動が始まります。私たちの運動がそれなりに事故抑止力の一端となっているからこそ、と前を向いて頑張るうちはありませんか。

車社会  
 歩くあなたも  
 その一人

# 死亡事故に歯止めを

## 県安協定期総会開く

県交通安全協会(中村太郎会長)は、五月二十三日(土)、甲府市古名屋別館で、平成四年度定期総会を開きました。冒頭、中村会長が、安協が経営する自動車学校も厳しい情勢下に一段と努力が必要であることを強調し、交通事故を中心とする交通情勢については、関係

者の地道な安全活動が、交通事故の増勢に歯止めをかける抑止力となつていゝことも考え、なお一層、お互いに尽力するよう要請して、議事に入り、平成三年度の事業報告(別掲)と決算報告を審議して全員一致で承認しました。このあと任期満了に伴う役員改選を行い、全会一致で中村会長の再選を決め、他の役員については別項のとおり改選されました。

議事終了後、加賀美県警交通部長から本年の交通事故発生状況と死亡事故の特色などの説明を受け、安協の組織を挙げて事故防止に取り組みすることを誓ひ合いました。

新任者  
副会長・理事 秋山登  
理事 山寺嘉一郎  
渡辺喜信

評議員  
萩原卯平  
小林経治  
伊藤重忠  
小林 務  
大村政啓

退任者  
副会長・理事 奥石政雄  
理事 金井康敏  
望月和一  
渡辺都留夫  
海野 緑  
市川武文  
齊木 誠  
渡辺太郎  
羽田國海山  
梶原龜雄  
伊藤 勝

甲府安協、富士吉田安協指名の評議員は未定。なお、その他の理事・評議員、監事は再任されました。田中理事、小林理事は、県バス協会会長を退任し、富士吉田安協会長に就任、小林理事は県タクシール協会会長を退任し、県バス協会会長に就任されましたので、それぞれ県協会の理事に就任されました。



指導員四人、准指導員一人

◆県安協表彰  
十一月八日、県民会館。管区表彰伝達 団体二、優良運転者十一人、緑十字編章百八人、優良安協八協会、功労者、功労団体七人、リフレット、安協ニュース、映画フィルム、交通安全簡章(新入学児童)、新入学児童の母親宛チラシ等購入・配布  
七月二十一日、八月三十一日

◆高齢者交通安全旬間  
九月十一日、二十日

◆秋の全国交通安全運動  
九月二十一日、三十日  
黄色い羽根はか各種資材を春の運動に準じて購入・配布

◆年末・年始の交通事故防止県民運動  
十一月十日、十一月十日

◆交通安全功労者・優良運転者等の表彰  
五月十八日、東京農林功労者十八人、安協一、職員二人

◆優良指導者表彰  
十月二十七日、運転免許センター

# 平成三年度事業報告

日比谷公会堂  
緑十字金章二人、緑十字銀章四人、優良団体等五団体

◆二輪車安全運転大会  
八月三日、四日、三重県鈴鹿サーキット  
団体二十、個人女子三位  
指導員講習会  
十月二十七日、運転免許センター

◆二輪車安全運転推進委員会  
八月三日、四日、三重県鈴鹿サーキット  
団体二十、個人女子三位  
指導員講習会  
十月二十七日、運転免許センター

◆二輪車安全運転推進委員会  
八月三日、四日、三重県鈴鹿サーキット  
団体二十、個人女子三位  
指導員講習会  
十月二十七日、運転免許センター

◆二輪車安全運転推進委員会  
八月三日、四日、三重県鈴鹿サーキット  
団体二十、個人女子三位  
指導員講習会  
十月二十七日、運転免許センター

# 晴れの関東管区表彰

## 長坂安協と小澤氏らに

関東管区交通安全協会連合会(三鬼彰会長)の平成四年度定期総会が、五月十八日、東京農林年金会館で開かれ、平成三年度の事業報告・決算報告と平成四年度事業計画・歳入歳出予算等を審議しました。総会に先立って交通安全功労者・優良交通安全協会・優良職員の表彰が行われました。本県関係の受賞者(協会)は次のとおりです。



交通安全功労者表彰式  
長坂安協と小澤氏らに

渡邊美明(富士吉田) 小山幸(上野原)  
長坂交通安全協会  
長坂交通安全協会  
長坂交通安全協会  
長坂交通安全協会

講習をより充実  
県二輪車安全運転推進委員会(金谷信雄委員長)は、四月二十七日、甲府ニュー機山で、委員・幹事二十名が出席して合同会議を開きました。

TSマーク  
県自動車安全推進委員会(金谷信雄委員長)は、五月十二日、甲府ニュー機山で、本年度初の委員・幹事合同会議を開きました。

◆各種広報資料等購入、作成、配布(年間)  
ポスター、二八八七枚、三種類各一千枚、リーフレット(春秋運動用)二千枚、反射材一千五百個、羽根(春秋二回)各六万九千本、高齢者用冊子五百冊、反射標四十枚、TSマーク宣伝ポスター、四百枚、同チラシ一万枚、新入学児童簡章八千五百個、安協ニュース(年四回発行) 毎回二十六万五千部、PR誌「人と車」九十一部、映画フィルム、ビデオ購入二十六本、貸出し延八三三一回、中学生交通安全弁論大会弁論要旨集四百部、各種会議等

◆交通安全写真コンテスト  
七月、八月  
グッドライダーステイバル協力  
七月二十四日、小瀬スポーツ公園  
◆身障者連合会交通安全運動競技会協力  
九月二十日、運転免許センター

◆県中学生交通安全弁論大会  
十月三十日、リパース和戸

◆各種広報資料等購入、作成、配布(年間)  
ポスター、二八八七枚、三種類各一千枚、リーフレット(春秋運動用)二千枚、反射材一千五百個、羽根(春秋二回)各六万九千本、高齢者用冊子五百冊、反射標四十枚、TSマーク宣伝ポスター、四百枚、同チラシ一万枚、新入学児童簡章八千五百個、安協ニュース(年四回発行) 毎回二十六万五千部、PR誌「人と車」九十一部、映画フィルム、ビデオ購入二十六本、貸出し延八三三一回、中学生交通安全弁論大会弁論要旨集四百部、各種会議等

◆交通安全写真コンテスト  
七月、八月  
グッドライダーステイバル協力  
七月二十四日、小瀬スポーツ公園  
◆身障者連合会交通安全運動競技会協力  
九月二十日、運転免許センター

◆県中学生交通安全弁論大会  
十月三十日、リパース和戸

◆各種広報資料等購入、作成、配布(年間)  
ポスター、二八八七枚、三種類各一千枚、リーフレット(春秋運動用)二千枚、反射材一千五百個、羽根(春秋二回)各六万九千本、高齢者用冊子五百冊、反射標四十枚、TSマーク宣伝ポスター、四百枚、同チラシ一万枚、新入学児童簡章八千五百個、安協ニュース(年四回発行) 毎回二十六万五千部、PR誌「人と車」九十一部、映画フィルム、ビデオ購入二十六本、貸出し延八三三一回、中学生交通安全弁論大会弁論要旨集四百部、各種会議等

◆交通安全写真コンテスト  
七月、八月  
グッドライダーステイバル協力  
七月二十四日、小瀬スポーツ公園  
◆身障者連合会交通安全運動競技会協力  
九月二十日、運転免許センター

◆県中学生交通安全弁論大会  
十月三十日、リパース和戸

◆各種広報資料等購入、作成、配布(年間)  
ポスター、二八八七枚、三種類各一千枚、リーフレット(春秋運動用)二千枚、反射材一千五百個、羽根(春秋二回)各六万九千本、高齢者用冊子五百冊、反射標四十枚、TSマーク宣伝ポスター、四百枚、同チラシ一万枚、新入学児童簡章八千五百個、安協ニュース(年四回発行) 毎回二十六万五千部、PR誌「人と車」九十一部、映画フィルム、ビデオ購入二十六本、貸出し延八三三一回、中学生交通安全弁論大会弁論要旨集四百部、各種会議等

★全車種(大型・普通・自二・けん引・大特第二種免許)の免許の取得ができます。  
★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。  
★ご希望により送迎もいたします。

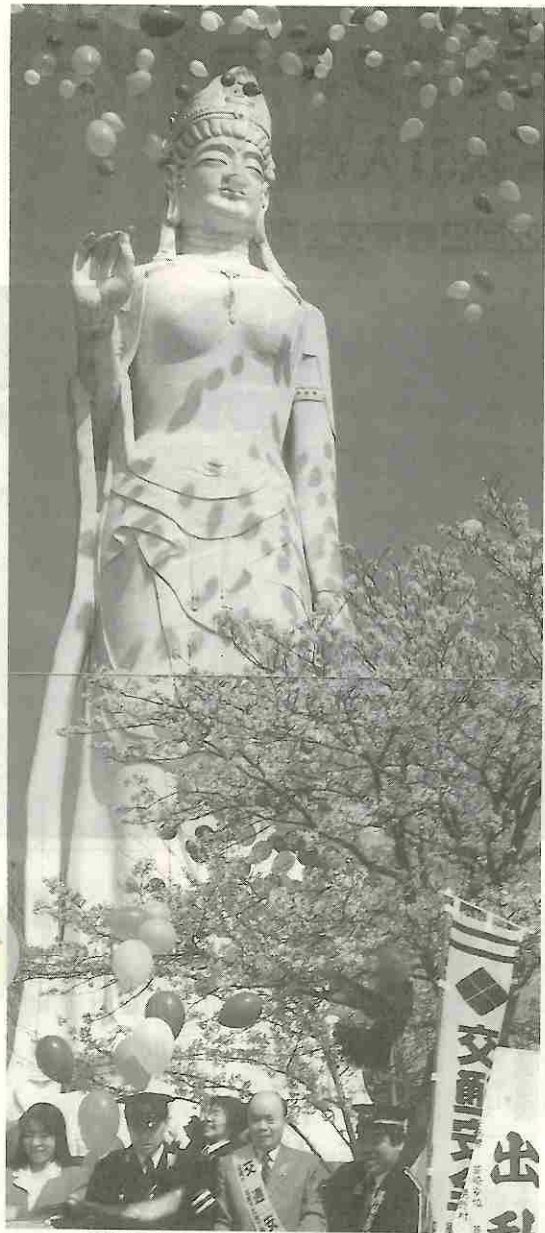
財団法人  
山梨県交通安全協会経営  
公認 山梨自動車学校  
中巨摩郡八田村野牛島1828  
TEL (0552) 85-0752

新規購入  
映画の紹介

①はビデオもあります。  
②はビデオ、その悲劇  
③はビデオ、その悲劇  
④はビデオ、その悲劇  
⑤はビデオ、その悲劇

ライダートとしての責任が生まれる。安全運転は「乗る人の心構え」がいかに大切であるかを若者に訴えたい。三、事故現場24時間  
16ミリ、カラー、28分  
16ミリ、カラー、28分  
16ミリ、カラー、28分





交通安全の願い風船に乗せて (葦崎)



富士をこえ、世界にとどけ「交通安全の願い」(富士吉田)

### 春の交通安全運動

#### 各地区安協の活動

春の交通安全運動は四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に行われ、県内でも、交通事故死者が増加している厳しい状況の下で、事故増勢に歯止めをかけ、ことしこそ事故減少を、多彩な行事、街頭活動、各種交通安全教育等を実施し、運動に真剣に取り組みました。

期間中の県下の交通事故は、発生九十七件、死者一人、傷者百十九人で、前年の同期(四月六日～十五日)と比べ、件数、傷者はそれぞれ二十件、十六人増加しましたが、死者は二人減少しました。

全国では、発生一万六千九百九十六件、死者二百九十六人、傷者二万五千五百一十一人で、前年同期と比べ、件数で百六十一件増加し、死者、傷者はそれぞれ十二人、三百五十一人減少しました。運動期間中では昭和四十九年以降で最悪の死者数となりました。

厳しい交通情勢のなかで地道な活動を続けることにより安全な社会づくりが実現できるとの強い意気をもって、これからもともどもに尽力してまいります。

運動期間中の各地区の皆さんの活動ぶりを紹介します。

(市川は画面が小さ過ぎ)  
(石和は未提出)



南無 / 交通事故退散を (南部)



ぬいぐるみちゃんも参加して街頭指導 (日下部)



国道20号 柏尾交差点で街頭指導 (塩山)



歩行者テスト合格園児に「歩行者免許証」の交付 (大月)



正しい横断、安全な横断を身につけて (上野原)



婦人部役員のカーブミラー清掃作業 (南甲府)



「シートベルトは命綱」を訴える敷島町民大会 (甲府)



高校生の一日交通巡視員による街頭指導 (鯉沢)



夜間、違法駐車締め出しパトロール (都留)



大型車大量通行路線で安全指導 (長坂)



黄色い羽を胸に (小笠原)